



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 藤森工業株式会社  
コード番号 7917 URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部門管掌  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

(氏名) 藤森 明彦  
(氏名) 吉野 彰志郎

TEL 03-6381-4211

配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	64,776	3.7	4,998	19.1	5,182	21.6	3,731	57.5
24年3月期第3四半期	62,445	6.6	4,196	11.8	4,263	12.1	2,369	12.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,840百万円 (77.0%) 24年3月期第3四半期 2,170百万円 (9.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	216.97	215.84
24年3月期第3四半期	137.43	136.89

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	74,796	35,777	47.0	2,043.22
24年3月期	73,441	32,516	43.5	1,859.49

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 35,159百万円 24年3月期 31,945百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	13.00	—	15.00	28.00
25年3月期	—	20.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,200	2.0	5,450	13.0	5,700	8.9	4,000	41.4	228.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注)詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	17,312,760 株	24年3月期	17,312,760 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	104,976 株	24年3月期	132,976 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	17,198,824 株	24年3月期3Q	17,244,563 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

平成25年1月30日を払込期日とする公募増資により普通株式1,700,000株を発行しております。また、平成25年2月27日を払込期日とする、オーバーアロットメントによる売出しに関連して行われる大和証券株式会社を割当先とする第三者割当増資により、255,000株を上限とした普通株式の発行を予定しております。平成25年3月期の連結業績予想に記載の通期の1株当たり当期純利益は、上記公募増資による普通株式1,700,000株の増加に加え、上記第三者割当増資による255,000株がすべて発行される前提で再計算しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は持ち直す動きが見られたものの、欧州での債務問題を背景とした景気の停滞や、中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化などの要因により、減速傾向で推移しました。一方で国内経済は、東日本大震災の復興需要による景気の下支えもありましたが、世界経済低迷の影響を受け、景気は減速の展開となりました。足許は依然、先行きへの不透明感が残るものの、政府の経済対策効果に対する期待感が高まりました。

このような環境の下、ライフサイエンス事業及び建築資材事業は売上高が減少しましたが、情報電子事業において、偏光板用プロテクトフィルムの売上が大幅に増加したことなどにより、当社グループの売上は前年同期比で増加いたしました。

損益面では、三重事業所の設備投資による減価償却費を中心とした固定費の増大、研究開発費の増加などの減益影響を受けましたが、売上増加に伴い採算が改善したことに加え、グループ全体にわたり、引き続き高付加価値製品の販売強化と生産効率の向上に努めたことなどから、前年同期比で増益となりました。また、平成23年10月のタイの大規模洪水により被災したタイ連結子会社において、災害損失にかかる受取保険金を特別利益に計上しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高647億76百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益49億98百万円（前年同期比19.1%増）、経常利益51億82百万円（前年同期比21.6%増）、四半期純利益37億31百万円（前年同期比57.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (ライフサイエンス事業)

生活用包装材において、粉末洗剤から液体洗剤への切り替わり需要をとらえた詰替用スタンディングパウチは前年同期を上回る売上を確保し堅調に推移しましたが、昨年度、受注増となった機械販売や食品用包装材を中心に東日本大震災の影響による一時的な受注増加が剥落したことなどにより、売上減少となりました。

この結果、売上高は316億42百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

#### (情報電子事業)

情報記録用材については、パソコン需要の低迷により「パソコン」向けは減少となりましたが、「スマートフォン」向けは受注堅調であり売上増加となりました。また、剥離フィルムにおいては、「タブレットPC」等の高機能携帯端末の需要が拡大していることから売上は堅調に推移しました。さらに、偏光板用プロテクトフィルムは、需要の動きを捉え、昨年度より稼働開始した昭和事業所の新設機の生産増が大きく寄与するなど、上半期に続き第3四半期も堅調に展開したことにより、売上は増大となりました。

この結果、売上高は263億2百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

#### (建築資材事業)

建材関連において、空調用配管の販売並びに煙突工事の受注は順調に推移しましたが、集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）の売上は減少となりました。また土木関連においても、トンネル用資材の受注が低迷したことから、売上が減少いたしました。

この結果、売上高は68億31百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、建設仮勘定、現金及び預金などが減少しましたが、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、前年度末に対して13億55百万円増加の747億96百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金は増加しましたが、借入金の返済や未払金の支払が進んだことにより、前年度末に対して19億5百万円減少の390億19百万円となりました。

純資産は少数株主持分5億37百万円を含めて357億77百万円となり、自己資本比率は47.0%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済情勢については、政権交代による期待感などが景気の下支えになっているものの、中国など新興諸国や欧州を中心とした海外経済の減速を背景に、企業を取り巻く事業環境は引き続き不透明な状況が続くものと思われま

す。当社グループでは、全部門にわたり一層の販売強化、生産性改善、コスト削減を徹底するなど、今後とも業績の向上に取り組んでまいります。しかしながら、情報電子事業では、パソコンの需要減に伴う情報記録用材の生産調整の継続が見込まれ、第3四半期までは堅調に推移してきた偏光板用プロテクトフィルムにおいても、第4四半期は液晶ディスプレイ用部材の生産調整が予想されることに加え、昭和事業所生産機械の改修工事を実施するなどの影響もあり、生産高は減少する見込です。また、ライフサイエンス事業においても食品用包装材等の需要低迷による販売減、建築資材事業においても引き続き厳しい展開が予想されます。

このような状況を踏まえ、現時点においては平成24年5月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

このことが当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,454	3,773
受取手形及び売掛金	27,350	30,381
商品及び製品	2,584	2,454
仕掛品	1,236	1,230
原材料及び貯蔵品	1,635	1,764
繰延税金資産	671	395
その他	1,022	563
貸倒引当金	△11	△6
流動資産合計	38,943	40,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,629	30,322
減価償却累計額	△14,578	△15,493
建物及び構築物(純額)	15,051	14,829
機械装置及び運搬具	40,796	43,140
減価償却累計額	△32,271	△33,844
機械装置及び運搬具(純額)	8,525	9,295
工具、器具及び備品	4,243	4,394
減価償却累計額	△3,649	△3,863
工具、器具及び備品(純額)	593	531
土地	5,340	5,345
建設仮勘定	1,129	384
その他	15	18
減価償却累計額	△6	△9
その他(純額)	8	9
有形固定資産合計	30,647	30,395
無形固定資産		
その他	257	245
無形固定資産合計	257	245
投資その他の資産		
投資有価証券	2,373	2,414
繰延税金資産	501	505
その他	783	739
貸倒引当金	△66	△61
投資その他の資産合計	3,592	3,598
固定資産合計	34,497	34,239
資産合計	73,441	74,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,234	21,060
短期借入金	6,880	4,036
未払金	3,774	2,911
未払法人税等	756	806
賞与引当金	1,182	667
役員賞与引当金	98	71
その他	1,148	2,082
流動負債合計	33,075	31,636
固定負債		
長期借入金	3,000	2,572
繰延税金負債	249	345
退職給付引当金	2,990	3,077
役員退職慰労引当金	515	460
その他	1,092	928
固定負債合計	7,849	7,383
負債合計	40,924	39,019
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,723	4,723
資本剰余金	5,778	5,776
利益剰余金	21,435	24,565
自己株式	△138	△109
株主資本合計	31,798	34,956
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	445	464
為替換算調整勘定	△298	△261
その他の包括利益累計額合計	146	202
新株予約権	76	80
少数株主持分	494	537
純資産合計	32,516	35,777
負債純資産合計	73,441	74,796

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	62,445	64,776
売上原価	50,378	51,010
売上総利益	12,066	13,766
販売費及び一般管理費	7,870	8,767
営業利益	4,196	4,998
営業外収益		
受取利息	10	2
受取配当金	52	53
受取保険金及び配当金	54	79
受取賃貸料	70	10
為替差益	—	20
企業誘致奨励金	—	16
その他	206	110
営業外収益合計	394	294
営業外費用		
支払利息	153	68
売上割引	27	24
貸与資産減価償却費	21	4
為替差損	106	—
その他	19	13
営業外費用合計	327	110
経常利益	4,263	5,182
特別利益		
固定資産売却益	27	0
投資有価証券売却益	0	0
受取保険金	—	617
特別利益合計	27	617
特別損失		
固定資産除却損	8	29
関係会社株式評価損	9	—
投資有価証券評価損	—	8
減損損失	62	—
貸倒引当金繰入額	148	—
その他	9	2
特別損失合計	237	40
税金等調整前四半期純利益	4,053	5,759
法人税、住民税及び事業税	1,033	1,619
法人税等調整額	608	357
法人税等合計	1,641	1,976
少数株主損益調整前四半期純利益	2,411	3,782
少数株主利益	42	50
四半期純利益	2,369	3,731

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,411	3,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84	18
為替換算調整勘定	△157	39
その他の包括利益合計	△241	58
四半期包括利益	2,170	3,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,142	3,787
少数株主に係る四半期包括利益	28	52

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,500	22,577	7,366	62,445	—	62,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	204	778	9	992	△992	—
計	32,704	23,356	7,376	63,437	△992	62,445
セグメント利益	2,260	1,714	220	4,196	—	4,196

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,642	26,302	6,831	64,776	—	64,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	192	536	77	806	△806	—
計	31,834	26,838	6,909	65,582	△806	64,776
セグメント利益	1,391	3,417	190	4,998	—	4,998

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (6) 重要な後発事象

当社は、平成25年1月15日開催の取締役会において、新株式発行及び当社株式の売出しに関し下記のとおり決議いたしました。なお、公募による新株式発行については平成25年1月30日に払込を受けております。

## 1. 公募による新株式発行（一般募集）

- (1) 発行した株式の種類及び数 普通株式 1,700,000株
- (2) 発行価格 1株につき2,007円
- (3) 発行価額 1株につき1,920.06円
- (4) 資本組入額 1株につき960.03円
- (5) 発行価額の総額 3,264,102,000円
- (6) 資本組入額の総額 1,632,051,000円
- (7) 払込期日 平成25年1月30日
- (8) 資金使途 当社の設備資金、当社の短期借入金の返済資金

## 2. 第三者割当による新株式発行（オーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関する第三者割当）

- (1) 発行する株式の種類及び数 普通株式 255,000株（上限）
- (2) 払込金額 1株につき1,920.06円
- (3) 払込金額の総額（上限）489,615,300円
- (4) 資本組入額の総額（上限）244,807,650円
- (5) 割当先及び割当株式数 大和証券株式会社 255,000株
- (6) 申込期日 平成25年2月26日
- (7) 払込期日 平成25年2月27日
- (8) 資金使途 当社の設備資金、当社の短期借入金の返済資金